



TOBIUME SHIN KUMI
Disclosure

とびうめ信用組合の現況

より一層ご理解を深めていただくために……。



2017
ディスクロージャー誌

ごあいさつ



とびうめ信用組合
理事長

石井 榮 二

皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素より「とびうめ信用組合」に格別のご愛顧とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび当組合の現況(平成28年度第69期)について、より一層のご理解を頂くために、経営方針・事業内容・業績等をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

平成28年度におきましては、事業先との「職域提携契約」を通じて、経営者や従業員の方々への円滑な資金供給や情報提供、経営支援等にも積極的に取組み、地域の発展とお客様の繁栄に努めて参りました。

これからもコンプライアンスを重視した経営に努め、役職員一同一体となって、地域の皆さま方のお役に立てる金融機関を目指して参りますので、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当組合は、経営効率化に向けた施策の一つとして、平成29年7月14日付けにて本郷支店を廃止し、菊池支店に統合することと致しました。長年ご愛顧いただきまして誠に有難うございました。地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど宜しくようお願い申し上げます。

平成29年7月

CONTENTS

ごあいさつ	1
経営理念・経営方針	2
事業の概況	2
お客様にご安心いただくために	3
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況	7
地域貢献に向けた取組み	8
業務のご案内	11
総代会について	15
自己資本の充実の状況	18
資料編	26
索引	38

「とびうめ」のプロフィール

(平成29年3月31日現在)

- ◆ 名 称 とびうめ信用組合
- ◆ 本店所在地 福岡県福岡市東区箱崎1丁目10番8号
- ◆ 創 立 昭和23年6月21日
- ◆ 組 合 員 数 22,924名
- ◆ 出 資 金 1,039百万円
- ◆ 店 舗 数 16店舗
- ◆ 職 員 数 129名
- ◆ 預金積金残高 81,776百万円
- ◆ 貸出金残高 54,764百万円

経営理念・経営方針

経営理念

とびうめ信用組合は、『ともに働き、ともに豊かに』を合い言葉に、健全性の確保、信頼性の向上に努めると共に、組合員をはじめとする地域の事業者、生活者の方々の繁栄を第一に考え、きめ細やかな金融サービスの提供を行い、豊かな地域の創生と経済・文化の発展に貢献します。

経営方針

- 私たちは、お客様の揺るぎない信頼を得るために、倫理観ある行動に徹して参ります。
- 私たちは、適正なリスク管理体制の構築に努めて参ります。
- 私たちは、積極的な情報開示に取組み、経営の透明性を高めて参ります。
- 私たちは、お客様のことを第一に考えて、苦情・相談業務体制と事業支援体制の充実を図って参ります。
- 私たちは、質の高い金融サービスを提供するために、常に自己研鑽に努めて参ります。

事業の概況

1. 金融経済環境

平成28年度は、熊本地震の発生、イギリスでのEU離脱国民投票、トランプ米国大統領就任など、金融経済環境に大きな影響を与える出来事がありました。

また、日銀によるマイナス金利導入は更なる金利競争の激化に繋がり、ほとんどの金融機関の利鞘が縮小し、コア業務純益の低下が大きな問題となっております。

国内現状は、景気は緩やかながら回復傾向にあると言われております。しかしながら、世界的には厳しい環境下にあります。シリアや北朝鮮などの地政学リスクもあり、暫くは不安定な経済環境が続くものと思われまます。

2. 業績

当組合は、上記の方針・経済環境の下で事業を推進し、当期の業績は以下の通りとなりました。

預金残高は、夏・冬に実施した定期預金キャンペーンや、法人・個人事業者預金の増加により、期末残高は81,776百万円となり期中813百万円の増加となりました。

貸出金残高は、アパートローンや保証付個人ローンの増強とともに、事業者と「職域提携契約」を締結し、事業性融資の推進を行ったことから、期末残高は54,764百万円となり、期中3,946百万円の増加となりました。

収益面では、計画している店舗統廃合に関する減損処理や、貸出金利回りの低下による利息収入の減少もありましたが、債券の売却益や貸倒引当金の取崩し等により、当期純利益85百万円を確保することができました。

3. 展望及び課題

地方における人口減少・少子高齢化・事業所減少は深刻な問題となっております。

地域経済の発展に寄与することが「とびうめ信用組合」の努めであるとの認識の下に、地域金融機関として皆様の期待に添えるよう更なる金融サービスの向上に努めて参ります。

今後とも尚一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。